

# これからの社会に求められる 学力とは!

弓野憲一

静岡大学名誉教授/日本創造学会前会長

# 今日の話の内容

- ◆ 1. 学習における学びと創り(⇒創造性)
- ◆ 2. 生きる力とは？(総合的学習の目標)
- ◆ 3. 学校教育の流れの変化
- ◆ 4. 体験学習と創り(創造性)の関係  
(学校以外の教育の役割)
- ◆ 5. 創り(創造性)を伸ばすには

# 1. 学習における学びと創り

◆ 学習 --- 学び (アジアの教育)

◆ 学び + 創り (西欧先進国の教育)

# 学びとは何か？

「学び」の語源は「まねる」にあるという。学ぶことの第一義的な意味がまねるにあるとすれば、

まねる人とまねられる人(対象)が必要になる。その対象には、言葉、新しい知識、行動、スキル、価値、好み等々が含まれる。人はそれらの諸対象を教師・親・家族・友人・社会を通じて、さらには本・教科書・各種のメディア等を通じて獲得していく。

# 創りとは何か？

**作るmake**: モデルや設計書があり、モデルをまねて作品を描いたり、設計書に従って「もの」を完成する。

**創るcreate**: 幼児のブロックを用いたタワーづくりであっても、他人の作品をまねたのではなく、その子独自のイメージによってそれを完成した場合には、「創る」という語が用いられる。このことから、創りには、**他の人のまねではなく作者独自の何かが加わったものである**ことがわかる。それゆえ創りは、全ての教科や遊びで奨励できる

。

**\*\*\*創りは常に間違いを含んでいる。試行錯誤が要求される。 ⇒「創り」を多く実施することが、「創造性の教育」に有効。**

# 創りを増やして創造性を伸ばす

- ◆ 1. エジソンは何種類のフィラメントを試したか？
- ◆ 2. iPS細胞の発明過程(山中博士)
- ◆ 3. 青色ダイオードの発明(中村博士)
- ◆ 4. 創造的作文の時間(西欧先進国)
- ◆ 5. 科学者のように考え、検証する
- ◆ 6. 生活を工夫する習慣をつける

## 2. 生きる力とは？

- ◆ 定義 「生きる力は、いかに社会が変化しようとも、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力である。」
- ◆ 生きる力は 「学びのみ」では完結できない ⇒ 「創り」が必要。

# 生きる力は育っているか？

- ◆ 筆者の経験ではNO
- ◆ 「お豆腐のできるまで」テーマを繰り返している(例)。⇒ **あなたならどうする**
- ◆ 調べ学習・体験学習に終わっている。
- ◆ 一部の熱心な学校を除くと、「生きる力」は育っていない。
- ◆ **失敗理由**: 生きる力は、学びではなく創りのなかにある。



# 3. 学校教育の流れの変化

## アクティブ・ラーニング (AL)

### 2020学習指導要領導入

- ◆ 1.総合的学習の時間(2000年より)
- ◆ 2.アクティブ・ラーニング(2020より)
- ◆ <導入目的>
- ◆ **生きる力も含めて、自己が充実でき、他者と協同して社会に貢献できる資質の形成**

# 4. 体験学習と創り(創造性)の関係

- ◆ 1. EcoEduの新生は創造性を伸ばした
- ◆ (森の中で遊び、隠れ家をつくり、自然と対話)
- ◆ 2. 創りの活発な子どもは創造性が高い
- ◆ (子どもの活動: ①未知の場所を探検した。②秘密の基地をつくった、③替え歌をつくった、④新しいゲームを考えた、⑤楽器をつくった、⑥なぞなぞをつくった、⑦ゲームのルールを変えて遊んだ。)

# A family in USA





# Making a Tree-House for the Challengers: 孫に贈る森の家



# 創り(創造性)を伸ばすには

- ▶ 家庭で創造性を伸ばすには、 a)挑戦をほめること、 b)創造的行動をほめること、
- c)Howのみでなく、What、Why疑問を増やすこと、
  - d)正答のみではなく思考の過程を評価すること、
  - e)データ・事実に基づく議論・ディベートを奨励すること、
- 等が有効であろう。

# 創りと創造性

- ◆ 創りには「私:自己」が深くかかわる。「私の意見」「私の考え」「私の表現」「私らしいもの」等々である。
- ◆ 創りを奨励する中で出現する、その子の最も優れた所産が、**その子の創造性**に当たる。
- ◆ 「ほめる」ことで、創りの中でその子のもっている創造性を伸ばすことが可能になる。
- ◆ 創りは**多くの失敗と試行錯誤**を必要とする。
- ◆ 間違いを受け入れて、ねばり強く問題解決を励ます必要がある。

# 家庭で育てる創造性(1)

- ◆ ①子どもの小さい時期に、海・山・川等の自然に手足で直に触れ遊ばせる。
- ◆ ②子どもの科学的な目が育ってきたら、関心を示した事象等について、親子の研究プロジェクトを提唱する。
- ◆ ③「ピラミッドの高さはどんなにして測れるだろう？」を親子で解く。
- ◆ ④人間の歴史、人間と動物、人間の「創造」についての本や記録を読んで語り合う。
- ◆ ⑤宇宙や天体等を見、またそれについて書

## 家庭で育てる創造性(2)

- ◆ ⑥読書やラジオ等からの学習を奨励する
- ◆ ⑦両親が確かな趣味を持つ。子どもの人生における最初のモデルは両親である。
- ◆ ⑧子どもが発した質問に直ぐに答えない
- ◆ ⑨身の周りにあるガラクタの利用方法を子どもと一緒に考える。
- ◆ ⑩部屋で模型組み立て・彫刻・簡単な科学実験をするための作業BOXを作る。
- ◆ ⑪もしインターネットがあれば、それを通して、外の世界を見させ、語り合う。



# 弓野教育研究所HP

(<http://dyumiken.com>)

- ◆ 「PDF-Book: 学びと創りの心理学」
- ◆ 上のHPより DownLoad可能。
- ◆ Amazon.com (kindle book)より購入可能

# 学びと創りの心理学(内容)

- ◆ 第一章 学びと創り(9)
- ◆ 第二章 学びのみで日本に未来はあるか (26)
- ◆ 第三章 知能と創造性の心理(6)
- ◆ (6) 学び・創りと知能・創造性の関連
- ◆ 第四章 しかる・ほめる・ただすの心理(51)
- ◆ 第五章 知能と創造性を伸ばす(56)
- ◆ 第六章 ほめて自尊感情を高める(70)
- ◆ 第七章 さまざまな個性(88)
- ◆ 第八章 今なぜ個性・創造性が重要か(95)
- ◆ 第九章 ほめて達成動機を伸ばす(100)
- ◆ 第十章 ほめて個性的IQを伸ばす(108)
- ◆ 2. 8つの個性的IQ
- ◆ (1) 学問的IQ:、(2) 創造性IQ:、(3) 巧緻性IQ:、(4) 共感性IQ:、(5) 判断力IQ:、(6) モチベーションIQ、(7) パーソナリティIQ:、(8) リーダーシップ・フォロワーシップIQ